

言語力育成の視点から見た景観スケッチ・景観写真の

読み取りに関する学習課題

——英国初等地理教科書 *Into Geography* の場合 ——

吉水裕也

一 はじめに

本稿では、「景観」を鍵概念とした地理授業における学習課題を、言語力育成を主な視点として明らかにする手がかりを得ることを目的とする。そのうち、授業においてどのような内容の学習課題をどのような方法で発見させていくのかについて、景観写真、景観スケッチを用いた例を検討した。

平成二〇年版学習指導要領（小・中）が告示され、各解説編も出版された。PISA型読解力の不足がマスコミで大きく取り上げられたことなどが影響し、「言語力」の育成が各教科で重視されることとなった。特に社会系教科については、「社会科、地理歴史科、公民科では身近な地域の観察・調査などを行う学習において、的確に記述し解釈を加えて報告すること、法則性や概念を基に事象を説明すること、価値判断や未来予測、また、未来がどうあるべきかという議論が必要な場面を設けて各自の解釈・判断を論述したり、意見を交換したりすることが考えられる。また、言語力や思考力の育成のために、様々な資料を的確に読むことや、それらの資料を関連付けて読む、比べて読む、批判的に読むなどの指導を充実することが望ましい。」⁽¹⁾ という内容が要請されており、

記述、説明、解釈・判断を組み込んだ授業、そして資料を関連付け、比較し、批判的に読む授業が必要となる。

ところで、PISA型読解力では文章などの連続型テキスト、及び、グラフ、図表、地図などの非連続型テキストの読解が求められている。特に、社会科学地理的分野の学習では、非連続型テキストを多用しているため、非連続型テキストの読解力育成には、社会科学地理的分野が重要な位置づけになると考えられる。地図、景観スケッチ、景観写真は、地理学が伝統的に用いてきた方法であり、地理オリジナルな方法と言ってもよい。そこで、社会科や地理オリジナルな方法で非連続型テキストの読解は十分可能であることを提示したい。

本稿では、分析対象を非連続型テキストにあたる景観スケッチや景観写真に基づいた学習課題や問いに絞り、それぞれについて、どのような内容をどのような方法で記述、説明、解釈、判断させていくのかについて検討していく。

以下、本稿での手順を示す。

- ① 言語力育成の視点から、記述、説明、解釈・判断等、用語の概念規定を行う。
- ② 教科書に掲載されている景観スケッチ・景観写真を分析対象とし、それぞれについて教科書でどのような読み取り内容と読み取り結果を想定しているのかを、言語力育成、および社会認識形成、市民的資質育成に関する後述のフレームワークにより分析し、問いの形で抽出する。
- ③ 結果を考察し、教科書の特徴を検討する。
- ④ 明らかになった特徴を踏まえ、景観スケッチ・景観写真の読み取りを通じた社会認識形成および言語力育成のための方向性を提示する。

二 言語力育成のための記述、説明、解釈・判断

言語力育成協力者会議の定義を参考にしながら、言語力育成に関するキーワードとなる用語を定義する。なお、言語力育成協力者会議では、記述、説明、解釈・判断という概念を提示しており、これらが言語力育成を論じるときのキーワードとなる。これらの語句を本稿では以下のように定義する。

記述：情報を正確に読み取るための問いに対する答え、または答える行為。

説明：法則性や概念をもとにした、因果関係に関する問いに対する答え、または答える行為。

解釈：情報や概念を用いて事象に対して意味づけする問いに対する答え、または答える行為。未来予測を含む。

判断：与えられた情報と自らの経験等を結びつけ、合理的に意志決定することが必要な問いに対する答え。また

たは答える行為。価値判断。

このように各語を定義したい。また、記述、説明は、主に社会認識形成に係わる内容を対象としており、合理的な価値判断を行うためのベースとなる知識と位置づける。

三 分析フレームワークの設定

以上述べてきた事柄は、言語力育成に関することであるが、これらはこれまで社会科が取り組んできた社会認識形成、市民的資質育成の過程で身につけられてきた知識と同様のものである。また、これらの内容を定着させるための方法も必要である。そこで、言語力育成協力者会議の指摘を参考に、記述、説明、解釈、判断を適切に行うための方法を組み込んで分析フレームワークを設定した。

分析フレームワーク

内容 記述(いつ、だれが、どこで、なにを、どのように、どのような)

説明(なぜ)

解釈(どのように)

判断(どちらを、どれを)

方法 関連づけ、比較、批判

四 分析対象教科書

分析した英国初等地理教科書は、*Into Geography pupils book 1-4* (Nelson社発行、KS2/Year3-6用)である。⁽²⁾ 本テキストの初版は一九八六年とあるが、改訂が加えられており、今回分析対象としたのは一九九二年発行のものである。

*Into Geography*は、一冊平均約六〇頁、オールカラーで、特に、課題(Assignment)と発展(One Step Further)個人研究(Personal Research)という問いのセット(アクティビティー)を組み合わせた1テーマ見開き二頁で展開していくところに特徴がある。英国の地理教科書全般の特徴ともいえるが、日本の教科書との大きな違いは、教科書中にこれらの問いがすべて明示されている点である。テーマと関連したスケッチを多用し、それに関するアクティビティーを設定するというワークブック型の教科書である(図1)。

THE NEIGHBOURHOOD

This is a picture Farah drew of her neighbourhood

As part of their local studies work the class look at the neighbourhood from the school roof. The picture shows what they see when they look towards their homes.

They can see the terraced houses where Sally and David live, the semi-detached houses where Sajid and Farah live and the block of flats near the church. The children who could see their own homes have had their names written on the plan opposite.

This is a plan view of the neighbourhood.

KEY

- houses
- lines
- grass
- pavement
- tree

Assignment

Some streets and buildings can be seen on both the plan and the picture. Some can only be seen on either the plan or the picture.

1 Complete this table

	Seen on plan	Seen on picture
New Street	Yes	No
Sally's house	Yes	Yes
People		
John's church		
Car		
Church hall		
Church tower		
Car park		
Ben's house yard		

2 Write down the addresses of
 a) Lucy b) Ben c) David

3 On her way to call for Lucy, Sally walks down these roads - name them

4 Who lives furthest from the playground?

One step further

1 Follow these directions with your finger. Sajid leaves his house and turns right on Ladbroke Avenue. He crosses Park Crescent and walks past Sally's house. He turns right at the next corner. He walks past the petrol crossing. He crosses the alleyway that leads to the backyards. He turns right at the next corner and stops at the first house. Who is he visiting?

2 Now make up directions for a different journey and ask a friend to follow them.

3 Tory stood on the school roof. He lives in Windsor Flats on the New street side. He could not see his home properly. On which floor does he live?

Book1 pp.14-15

ST. GEORGE'S CENTRE

I know you're tired. It's a long walk to the bus stop but then we'll go home

Look at the picture of Sally and David's grandma, Mrs Hudson. It shows her out shopping in 1960 when she was 32 years old. With her are Sally and David's mother and uncle aged 7 and 5 at the time

(Assignment A)

Mrs Hudson did not have a car in 1960. She went shopping in town by bus

- List the difficulties Mrs Hudson faced shopping in 1960.

Think about: weather, time, distance, safety, transport.

- Mrs Hudson went shopping every day. Can you suggest why?

(Assignment B)

Compare the pictures of the shopping centre with the picture of shopping in 1960.

- What dangers are no longer present?
- Mrs Hudson now enjoys shopping. Why?
- It takes her less time. Can you suggest reasons?
- In the top picture Mrs Hudson is soaking wet. How has the situation changed in the shopping centre?

B Try and imagine the scene on a cold day in January. Would it be safe for shoppers?

It's hard work using those steps at my age. There's a new shopping centre in the next town. I'll go there next time!

The owners of St. George's realized they needed to make changes or their customers would shop in other centres. They thought carefully about what would make their centre attractive to shoppers.

(Assignment C)

- Look at the 2 photos taken before and after the alterations. List the changes you can see.
- Copy and complete the chart by saying what advantages shoppers gained from the changes.

Changes	Advantages for shoppers
Centre covered	
Big car park	
Shopping lifts	
Lift for prams	
More attractive decoration	
Heating	
Doors to entrances	
Music playing	
Big windows	

- List the changes in order of importance to
 - Yoursell!
 - A parent with a baby
 - A senior citizen
 - A disabled person in a wheelchair
- An old man sat on the wooden bench every evening and scattered seed for the pigeons. How would he feel about the changes?

Book3 pp.4-5

Harrison, P., Harrison, S., Pearson, M. (1992) *Into Geography*, 2nd ed. (New National curriculum Edition), Nelson.

☒1 Into Geographyの紙面例

五 教科書分析の結果

本節では、前述のフレームワークによって分析した結果を報告する。なお、分析対象教科書から訳出し、分析フレームワークによって分類した問いの例を示しておく(資料1)。

① バランスのよい問いの配列

ア. 問いを明確にした記述、説明、解釈、判断：内容の分析

本テキストでは、景観スケッチや景観写真の読み取りのため、記述に関する問いを多数設定している。テキスト中には前述の通り、課題 (Assignment) / 発展 (One Step Further) / 個人研究 (Personal Research) という3つのタイプのアクティビティーが設定されている。このうち特に「課題」では、記述に関する内容の問いがほとんどを占めている。景観スケッチや景観写真に対する読み取りの視点(内容)を「問い」の形で提供し、子どもたちにミクロな情報を出来るだけ豊かに獲得させようという意図が読み取れる。

一方、「発展」では、記述した内容を基にした説明や解釈、判断の割合が高くなる。「発展」に対して「課題」がより基礎的・基本的と位置づけられており、その基礎や基本は、景観スケッチや景観写真から抽出した記述的知識や分析的知識であると捉えられる。各頁に「発展」が設けられていることから、単なる記述に終わらず、説明や解釈(未来予測)、判断(価値判断)へと進める過程が想定されていることがわかる。

「個人研究」は、習得した知識などを用いて、自分自身や自分が住んでいる地域の事象について考える設定になっている。この流れは、記述的知識、分析的知識や説明的知識を獲得し、それらを用いて社会一般の事象についての解釈(未来予測)や価値判断を行うタイプ、または、自分自身や身近な地域の事象に当てはめて(当事者

化を図って）行うタイプの判断となっている。

課題（情報の収集、記述）↓発展（説明、解釈、判断）↓個人研究（解釈、判断）

こういった学習過程の中で、書（描）いたり、発表したりすることを通して言語力が育成される仕組みがつけられている。

イ. 関連づけ、比較の多用：方法の分析

本テキストでは、一枚の景観スケッチや景観写真から何かを読み取らせるのではなく、ほとんどのページで、複数の景観写真を時間軸で比較させて地域や事象の変容を見たり、景観スケッチと景観写真、景観写真と地図、景観スケッチと地図を関連づけて読み取りをさせている点に特徴がある。

関連づけ、比較という方法によって、多様性や共通性という特徴を明らかにしたり、変容を認識させたりする方法が多用されている。ただし、初等段階の教科書のためか、批判的に景観スケッチと景観写真を読ませる問いはほとんどみられなかった。これについては、KS3段階でどのような問いが設定されているのかを分析していくことによって、明らかにしよう。

② 景観の扱い

ア. 景観スケッチから景観写真へ

本テキストを概観すると、その前半には景観スケッチが多く、後半には景観写真が多く用いられていることに気づく。

一般に、写真は撮影者のアングルで実際の景観を切りとったものである。写真が現像されるときには、トリミングされる場合もあり、撮影者の撮影意図が強調されることがある。⁽³⁾ これらの点に関して、地理写真研究の分野では様々な議論がある。また、本テキストが作成された英国においても、KS3段階のスキーム・オブ・ワークにおいて、「国のイメージ」という単元プランの中にフォトリテラシーの内容が盛り込まれている。⁽⁴⁾

スケッチと写真との違いは、スケッチの方があらかじめ情報を選択して提供する点が強いことであろう。写真であれば写らない点を、スケッチなら描き込むことが出来る。写真なら撮影視点は1つであるが、スケッチなら複数の視点から見たものを一枚の中に書込むことが出来る。これらの点から考えると、教えた内容だけを「単純化」し、「都合のよい（現実には存在しそうなことをモデル化して提示する）」教材を与えることができる点で、スケッチに優位性がある。

本テキスト中に、次のような問いが盛り込まれている。

- 5 a 写真中にいくつの教会が見えますか。
- b 地図の上ではいくつありますか。
- c 写真上での教会と聖堂との違いをどのように述べることが出来ますか。
- 6 サリーとデヴィッドがノーウィッチ探検をするのにより役立つのは写真ですか、地図ですか。それ
はなぜか説明しなさい。
- (Into Geography Pupils' Book 4 p.4)*

また、景観写真と地図を比較させた問いには以下のものがある。

この地図は写真と同一地域を示している。地図は写真が語らないものを我々に語ります。表をコピーして完成させなさい。

(Into Geography Pupils Book 1 p.17)

イ. 読み取り視点の設定とキャプションの創造

本テキストの特徴として、写真にキャプションがついていない点が挙げられる。これは日本の教科書と異なった特徴である。ソントグ (Sontag, S.) は、「キャプションは私たちの目の証言を踏みこじる傾向がある。しかしどんなキャプションも、写真の意味を永久に制約したり保証したりすることは出来ない」という。⁽⁵⁾しかし、本テキストの意図は、ソントグのいうそれではないと考える。それは膨大な数の問いが、キャプションをつける作業を手伝ように機能するからである。また、これは教育の場ではある程度仕方のないことである。写真を読み取るためのよりどころとなるものは、これまで地理学をはじめとする科学が積ってきた研究成果(法則性や、一般命題を含む概念)だからである。子どもたちは、写真に対して与えられた多くの問いから、写真を通して地域性や社会の仕組みを読み取り、教室に於いて社会認識を形成していく。

マッキントッシュ (Mackintosh, M.) は、初等段階の子どもたちが景観写真を見るための手助けとして「全体の一般化を助けるために、写真にタイトルをつけなさい。」⁽⁶⁾と述べている。写真のキャプションが、読み取りを助けることを指摘しているのである。本テキストでは、マッキントッシュの指摘する役割を、テキスト中に配置した問いに行わせているとも言えるのではないか。

六 小結

英国の初等地理教科書 *Into Geography* から景観写真や景観スケッチを用いて学習する内容に関する問いを抽出し、分析した。

Into Geography では、課題、発展、個人研究というアクティビティーによって、記述↓説明↓解釈↓判断の学習過程を組み込んでおり、さらに関連づけと比較を多用することによって、各学習過程で設定された問いを解決しやすくする工夫がなされていた。これは景観スケッチや景観写真を用いて地域性を読み解くときに、それらを通して読み解いた事象を総合する一つの方法ともなっている。

これらのアクティビティーに対して、子どもたちが実際にどの程度の「書く活動」をしているのかは、実際の授業実践を観察するなどして、実態を把握しなければならない。また、中等段階の地理教科書の分析を併せて行うことによって、記述、説明、解釈、判断のどの内容を、どの学校段階で重視しているのかも明らかにすると考えられる。

さらに、生産景中心の内容から、山野正彦氏が一九八〇年代末からの景観や場所に関する研究内容の展開として、①テキストとしての景観解読、②ポストモダンの都市景観、特に消費景観の批判的考察、③「空間の生産」論との接合、④景観研究と「他者」の政治学との接合、⑤「景観」と「場所」の記述、⑥「ヘテロトピア」概念の使用^⑧という内容をあげていることにも対応し、消費の景観など、これまでの社会科学地理学習においてあまり扱われてこなかった景観に関する学習内容を整理する必要がある。これらは今後の課題である。

【附記】本小論は、二〇〇八年七月に日本地理教育学会において口頭発表した内容に加筆・修正を加えたものである。本小論は、平成一八年度〜平成二〇年度日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C、課題番号 一八五三〇七三三）、研究代表者 吉水裕也）の研究成果の一部である。

【註】

- (1) 「言語力の育成方策について（報告書案）」言語力育成協力者会議（二〇〇七・八・一六）机上配付資料
- (2) Harrison, P., Harrison, S., Pearson, M. (1992) *Into Geography*, 2nd ed. (New National Curriculum Edition), Nelson.
- (3) 今橋映子（二〇〇八）『フォォ・リテラシー報道写真と読む倫理』中公新書、全二五六頁
- (4) 拙稿（二〇〇七）「景観」を鍵概念とした地理的技能、岐阜聖徳学園大学紀要教育学部編第四六集、二九四一頁
- (5) スーザン・ソントグ著、近藤耕人訳（一九七九）『写真論』晶文社、全二二二頁
- (6) Mackintosh, M. (1998) Photographs, diagrams and maps: understanding and using them. In Carter, R., (Eds.), "Handbook of Primary Geography", The Geographical Association, p.134
- (7) 例えば、岩田一彦は、山本熊太郎が景観読解の中核的な内容を生産景としていることを指摘している。
- 岩田一彦（一九八五）山本熊太郎の景観地理教育論と思想的源泉、兵庫教育大学研究紀要 第2分冊、言語系教育・社会系教育・芸術系教育、一一八―一九頁。山本熊太郎（一九三三）『生活地理教育の動向』古今書院、八一頁
- (8) 山野正彦（二〇〇一）景観論の可能性についての覚書―「文化的転回」との関連で―、人文研究（大阪市立大学大学院文学研究科紀要）第五三巻、第3分冊、一三六―一三九頁。

【資料】 Intro Geography) のアクティビティーの例

Book 1

No.	62	63	64	65
頁	36			37
テーマ	グジャラトの生活 (グジャラトの景観写真) (この頁全体が、アメリカ、イギリスの生活との比較)	座標の図		雨季の生活 (洪水で取り残された集落、浸水)
写真・スケッチ	写真・ラムの家			空中写真・洪水
課題	A 課題	B 課題	A 発展	C 課題
記述	ラムの家の写真を見なさい。 1 何軒の家が見えますか。 2 ラムの家は何でできていますか。 3 それは何階建てですか。 4 屋根について記述しなさい。	座標 (E, 4) ではマンゴーが育っています。 次の座標ではどうか。 1 (A, 6), (C, 1), (F, 3) 3 あなたが食べられる作物をリストにしなさい。	1 好きな果物と野菜を5つずつあげなさい。 2 それらの横に、通常 a) 缶詰 b) 生 c) 冷凍のどの状態で買うか書きなさい。 3 ラムはそれらをどのように買うでしょう: 缶詰か、生か、冷凍か。 ↓	
説明			それはなぜですか。	
解釈 (未来予測)		2 どの作物が英国で育ちますか。		1 もし雨がやまなかったらどのようになりそうですか。 2 どのようにして村へ救助が到着
判断 (価値判断)				
関連		真写と図地 ○		写と図地 ○
比較		○		乾と季雨 ○
批判				

15	14
	13~12
	インドの家屋
鉄筋の家屋	水上家屋
B 課題	A 課題
写真を注意深く見なさい。	
1 この家屋は熱帯雨林の標高の高い地	
あなたが水上家屋に住んでいると仮定します。あなたの生活について書きなさい。学校、遊び、赤ちゃん、友達、危険、縄跳び、ボール遊び。	
	○

67	66	
		した家屋)
	写真・ラムの家、浸水した家	
B 発展	D 課題	
1 この女性ほどのようにして新鮮な食料ときれいな水を得ているのでしょうか。	1 家屋はどのような材料で造られていますか。 2 何が起こったのでしょうか。 3 水の深さはどのくらいあると思いますか。	
2 なぜきれいな水が重要なのでしょう。	4 ひもには何がかけられているのでしょうか。それはなぜでしょう。	
3 残りの家族はどこにいるのでしょうか。	5 この家族が失ったであろうもののリストを書きなさい。	できるでしょうか。 4 動物たちにはどのようなことが起こっているのでしょうか。
4 水位が上がりますか。	5 彼らはどのように感じていると思いますか。	3 どのような援助を必要としているのでしょうか。
6 彼らはどうすれば逃げることができますか。	○	○
		真季

19	18	17	16
サリーを着たしゃがんだ女性とかまどの写真		屋根裏部屋の写真	
B 発展	D 課題	C 課題	A 発展
	1 燃料には何が使われていますか。	貯蔵用の屋根裏部屋の写真を注意深く見なさい。 1 どのような材料が使われていますか… a)壁 b)屋根 c)床	あなたの家をこのインドの家屋と比較しなさい。屋根、窓、家屋の形を注意深く見なさい。違いを説明できますか。
1 どの部屋にもカーペットがない。なぜか言うことができますか。 2 ヒンドゥー教の家では肉料理がないのはなぜですか。	2 なぜ女性はしゃがんでいるのですか。		域か低い地域のいずれですか。 2 窓が小さくその上を庇が覆っているのはなぜですか。
		2 この家屋は農場地帯か森林地帯のいずれのものですか。 3 この地域では新しい家が建った地域よりも雨が多いですか、少ないですか。	
○			
○			○